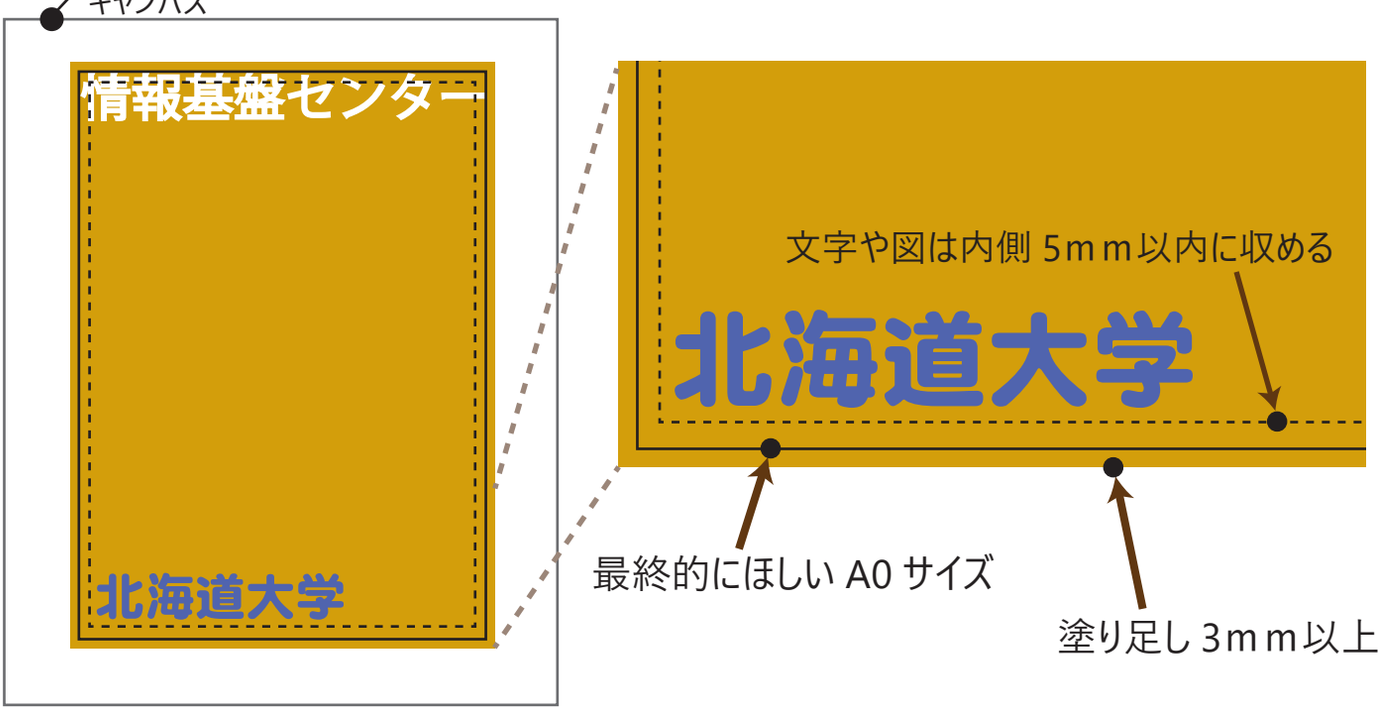
原稿作成時に気をつけること

※例の図：A0 サイズで印刷したい場合とする。

大判プリンタは印刷設定が複雑で、 思ったように印刷されないことがあります。
ある程度の誤差にも対応できるように以下の点に注意して原稿を作成することをおすすめします。
※大判プリンタ利用時、 途中で印刷をキャンセルしたものも課金の対象になりますのでご注意ください。

- 原稿は実寸（印刷したい）サイズで作成する。
  （実寸サイズに設定できない場合は実寸サイズと同じ縦横比で作成する。）
- カラーは CMYK で作成する。
- 欠けると困る文字や画像は内側 5 mm 以内に収めてバランスよく配置する。
- 背景に色を塗っている場合など、 周囲に白いフチが出ないように印刷したい場合は（等倍で）四方 3ｍｍ以上、 縦横それぞれ 6ｍｍ以上大きく塗り足ししてください。 これで切り取る位置が多少ずれても白いフチが出ません。

このように原稿を作成する場合は、
印刷したいポスターより大きめのキャンバスに原稿を作ることをおすすめします。
○パワーポイントの場合：A0 より大きいスライドの中央に A0 の原稿を作る
○Illustrator の場合：A0 より大きいアートボードの中央に A0 の原稿を作る
※キャンバスを大きくするときは、 キャンバスサイズが印刷設定で入力する原稿サイズです。



- 原稿が完成したら、 PDF ファイルも同時に作成して印刷時に持参してください。

印刷について

- 基本的にフチなし印刷は難しい。

ヒント：フチなし印刷

○「ロール紙幅」で印刷すれば可能

※縦 3mm 横 3mm 削られます。

○「オーバーサイズ」で印刷すれば可能

※原稿が削られることはないが、

出力したいサイズより幅 10mm 以上、 高さ 10mm 以上大きな用紙で印刷する必要があります。

- 背景部分を広めに作り、 印刷後希望のサイズに自分でカットする。

希望のサイズぴったりで印刷・カットは難しいので、
大きめに印刷し全体を見てからほしいところをカットするのが無難です。
そのためにも原稿作成時には、 後からカットすることを考慮して文字や画像をバランスよく配置してください。

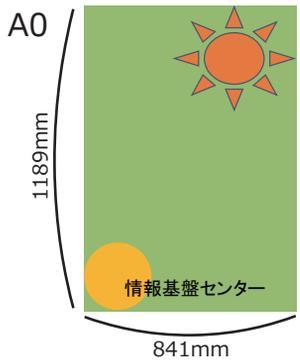
例：A0サイズで作成した原稿を、 A0サイズで印刷する場合

ロール紙 (36 インチ／幅 914mm)

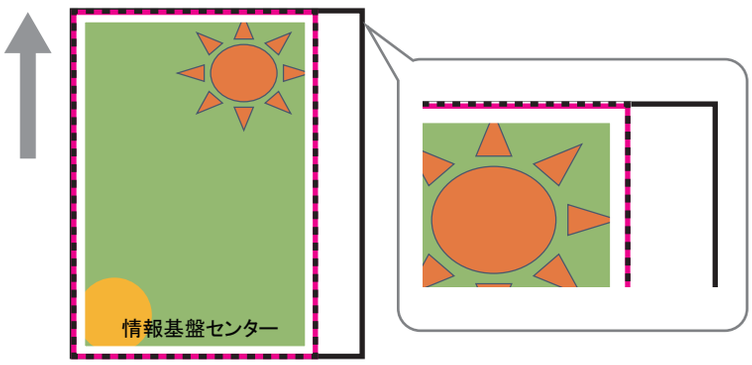
A0 サイズ (841mm＊1189mm)

原稿サイズ

印刷するのに必要な用紙サイズ

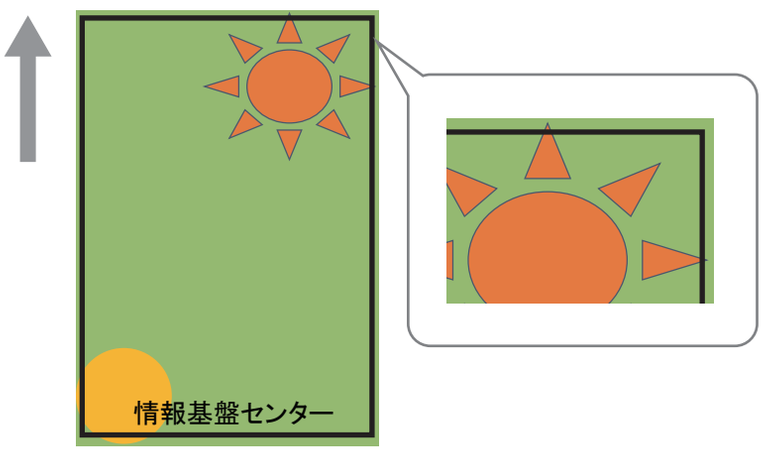


※例の図は縦向きの印刷ですが、 横向きも可能です。



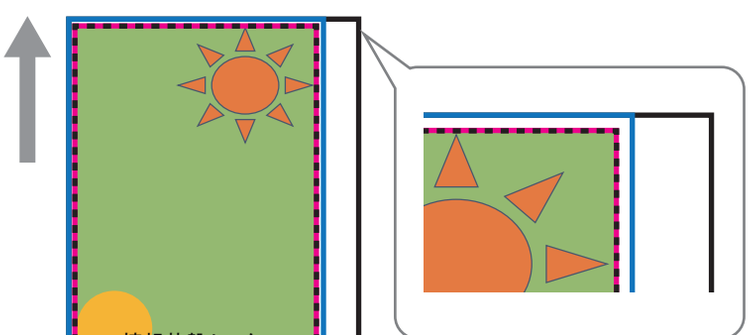
●普通に印刷する

A0 サイズの原稿の内側 (3~5mm 程度)
に白いフチが出ます（＝ 4 辺は削られます。）



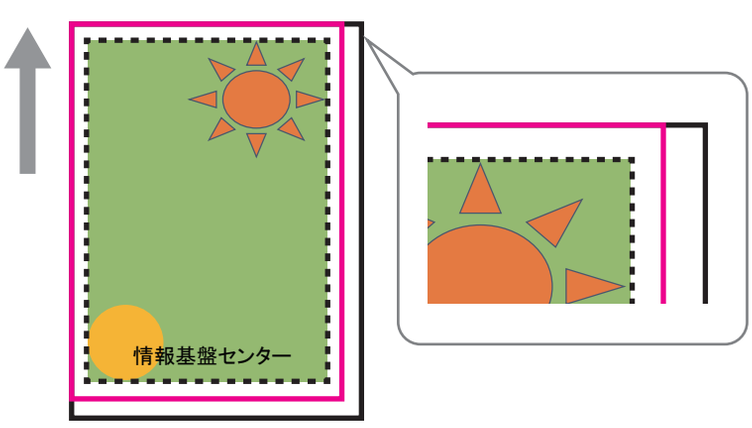
●ロール紙幅で印刷する

ロール紙幅より少し拡大され、 4 辺各 3mm ほど削られます。



●オーバーサイズで印刷する

A0 サイズの原稿は削られず、 A0 サイズで印刷された原稿の
外側に白いフチ（1cm 程度）が出ます。
白いフチを切り落とすと A0 サイズになります。



●原稿に余白をつけてからオーバーサイズで印刷する

そのままオーバーサイズで印刷すると、
白いフチが細すぎてカッターでは切りにくいため
予め A0 サイズの原稿の外側に太めの余白（1 辺幅 3cm~）
をつけた上で印刷します。
印刷後に切り取る場所がわからなくならないように
切り取り線をつけてから印刷することをお勧めします。